

令和3年度

中東遠看護専門学校組合会計等
歳入歳出決算審査意見書

中東遠看護専門学校組合監査委員



中看組監第8号
令和4年8月19日

中東遠看護専門学校組合

管理者 袋井市長 大場規之様

中東遠看護専門学校組合

監査委員 久永豊彦

監査委員 大庭通嘉

令和3年度 中東遠看護専門学校組合会計等歳入歳出決算審査の意見について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項を準用する同法第292条の規定により、審査に付された令和3年度中東遠看護専門学校組合会計歳入歳出決算及び附属書類並びに令和3年度中東遠看護専門学校組合奨学金貸与特別会計歳入歳出決算及び附属書類を審査したので、次のとおり意見書を提出する。

- 1 令和3年度 中東遠看護専門学校組合会計歳入歳出決算審査意見書
- 2 令和3年度 中東遠看護専門学校組合奨学金貸与特別会計歳入歳出決算審査意見書

目 次

ページ

第1 令和3年度 中東遠看護専門学校組合会計歳入歳出決算審査意見書	
1 審査の種類	4
2 審査の対象	4
3 審査の着眼点	4
4 審査の主な実施内容	4
5 審査の実施場所及び日程	4
6 審査の結果	4
7 決算の概要	5
(1) 歳 入	5
(2) 歳 出	6
8 実質収支に関する調書	6
9 財産に関する調書	6
10 基金運用状況調書	7
第2 令和3年度 中東遠看護専門学校組合奨学金貸与特別会計歳入歳出決算審査意見書	
1 審査の種類	8
2 審査の対象	8
3 審査の着眼点	8
4 審査の主な実施内容	8
5 審査の実施場所及び日程	8
6 審査の結果	8
7 決算の概要	9
(1) 歳 入	9
(2) 歳 出	9
8 実質収支に関する調書	10
9 財産に関する調書	10
10 基金運用状況調書	10
第3 まとめ	10

(注)

文中及び各表中の金額等の記述は、次の要領による。

- 1 金額の単位未満の数値は原則として四捨五入した。このため、合計額又は差額が一致しない場合及び合計額又は差額を調整したことがある。
- 2 比率は、百分率で小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。
- 3 文中及び表中に用いた符合等の用法は次のとおりである。
 - 「0.0」・・・該当数字はあるが、表示単位未満を四捨五入した結果のもの
 - 「－」・・・該当数字のないもの、算出不能又は無意味なもの
 - 「△」・・・対比又は比較等がマイナスとなったもの
 - 「皆増」・・・前年度に数値がなく全額増加したもの
 - 「皆減」・・・本年度に数値がなく全額減少したもの

第1 令和3年度 中東遠看護専門学校組合会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の種類

決算審査(地方自治法第292条)

2 審査の対象

令和3年度 中東遠看護専門学校組合会計歳入歳出決算

3 審査の着眼点

- (1) 決算書及び附属資料が、関係法令に基づいて作成されているか。
- (2) 決算書類に記載された計数等は正確であるか。
- (3) 予算の執行状況は適正であるか。

4 審査の主な実施内容

中東遠看護専門学校組合監査基準に準拠し、審査の着眼点に基づき、中東遠看護専門学校組合管理者から提出された令和3年度の決算書及び附属書類並びに帳票及び証拠書類とを照合点検するとともに、関係職員から説明を聴取し、審査を実施した。

5 審査の実施場所及び日程

- (1) 袋井市 監査室
- (2) 令和4年7月19日

6 審査の結果

審査に付された令和3年度の決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、各計数に誤りはなく、関係諸帳簿及び証拠書類といずれも符合し、適正であると認められた。

7 決算の概要

(1) 歳入

(単位:千円、%)

区分 款	令和2年度 収入済額 (A)	令和3年度					増減額 (D)-(A)	前年度 対比 (D)/(A)
		予算現額 (B)	調定額 (C)	収入済額 (D)	執行率 (D)/(B)	構成比		
1 分担金及び 負担金	290,000	280,000	280,000	280,000	100.0	80.4	△ 10,000	96.6
2 使用料及び 手数料	19,788	23,185	22,589	22,589	97.4	6.4	2,801	114.2
3 財産収入	2	2	1	1	72.3	0.1	△ 1	50.0
4 繰入金	32,000	35,000	35,000	35,000	100.0	10.0	3,000	109.4
5 繰越金	3,165	9,553	9,553	9,553	100.0	2.7	6,388	301.8
6 諸収入	2,243	760	1,323	1,323	174.1	0.4	△ 920	59.0
合計	347,197	348,500	348,467	348,467	100.0	100	1,270	100.4

歳入決算額は、予算現額348,500千円に対し、収入済額348,467千円であり、予算現額に対する収入済額の執行率は、100.0%(前年度99.2%)となっている。

収入済額を前年度と比較すると1,270千円(0.4%)の増加となり、構成比は、分担金及び負担金80.4%、繰入金10.0%、使用料及び手数料6.4%の順となっている。

市町別分担金調書

(単位:千円、人、床)

区分 市町名	人口割(40%)		病床数割(40%)		卒業生数割(20%)		合計
	人口	分担金	病床数	分担金	採用者数	分担金	
磐田市	169,490	40,119	500	33,577	72	24,735	98,431
掛川市	117,175	27,731	500	20,583	34.328	11,795	60,109
袋井市	88,279	20,899		12,995	21.672		
			120	8,053			
御前崎市	31,859	7,538	167	11,211	11	3,780	22,529
菊川市	48,379	11,446	250	16,789	10	3,433	31,668
森町	18,019	4,267	131	8,792	14	4,810	17,869
合計	473,201	112,000	1,668	112,000	163	56,000	280,000

(2) 歳 出

(単位:千円、%)

区分 款	令和2年度 支出済額 (A)	令和3年度						増減額 (C)-(A)	前年度 対比 (C)/(A)
		予算現額 (B)	支出済額 (C)	翌年度 繰越額 (D)	不用額 (E)	執行率 (C)/(B)	構成比		
1 議会費	601	638	576	0	62	90.4	0.1	△ 25	95.8
2 総務費	21,542	27,120	27,038	0	82	99.7	8.3	5,496	125.5
3 教育費	313,246	317,484	296,807	1,144	19,533	93.5	90.9	△ 16,439	94.8
4 公債費	2,255	2,258	2,255	0	3	99.9	0.7	0	100.0
5 予備費	0	1,000	0	0	1,000	0.0	0.0	0	—
合 計	337,644	348,500	326,676	1,144	20,680	93.7	100	△ 10,968	96.8

歳出決算額は、予算現額348,500千円に対し、支出済額326,676千円、不用額20,680千円で、予算現額に対する支出済額の執行率は、93.7%(前年度96.5%)となっている。

支出済額を前年度と比較すると10,968千円(3.2%)の減少となり、構成比は、教育費90.9%、総務費8.3%の順となっている。

8 実質収支に関する調書

令和3年度決算においては、歳入総額348,467千円、歳出総額326,676千円、歳入歳出差引額21,791千円となったが、この額には、翌年度へ繰り越すべき財源(繰越明許費繰越額)1,144千円が含まれているため、この額を差し引いた当年度実質収支額は20,647千円となっている。

9 財産に関する調書

(1) 公有財産

ア 土 地 無 し

イ 建 物

(単位:㎡)

区 分	建物(非木造延面積)		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
校 舎	5,525.81	0	5,525.81
体 育 館	925.87	0	925.87
駐 輪 場	333.82	0	333.82
合 計	6,785.50	0	6,785.50

(2) 物 品 (50万円以上)

(単位:台、式)

区 分		前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
車 両		4	0	4
事務、医療、教材器具		18	0	18
その他	グランドピアノ	1	0	1
	緞 帳	1	0	1
合 計		24	0	24

(3) 基 金

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中 増減額	決算年度末 現在額
財政調整基金	41,865	16,500	58,366
職員退職手当基金	101,774	△ 24,998	76,775
合 計	143,639	△ 8,498	135,141

10 基金運用状況調書

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中増減額		決算年度 末現在額	備 考
		受入	払出		
財政調整基金	41,865	16,500	0	58,366	新規積立額 16,500 利子積立額 0 基金取崩額 0
職員退職手当基金	101,774	10,001	35,000	76,775	新規積立額 10,000 利子積立額 1 基金取崩額 35,000
合 計	143,639	26,501	35,000	135,141	新規積立額 26,500 利子積立額 1 基金取崩額 35,000

第2 令和3年度 中東遠看護専門学校組合奨学金貸与特別会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の種類

決算審査(地方自治法第292条)

2 審査の対象

令和3年度 中東遠看護専門学校組合奨学金貸与特別会計歳入歳出決算

3 審査の着眼点

- (1) 決算書及び附属資料が、関係法令に基づいて作成されているか。
- (2) 決算書類に記載された計数等は正確であるか。
- (3) 予算の執行状況は適正であるか。

4 審査の主な実施内容

中東遠看護専門学校組合監査基準に準拠し、審査の着眼点に基づき、中東遠看護専門学校組合管理者から提出された令和3年度の決算書及び附属書類並びに帳票及び証拠書類とを照合点検するとともに、関係職員から説明を聴取し、審査を実施した。

5 審査の実施場所及び日程

- (1) 袋井市 監査室
- (2) 令和4年7月19日

6 審査の結果

審査に付された令和3年度の決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、各計数に誤りはなく、関係諸帳簿及び証拠書類といずれも符合し、適正であると認められた。

7 決算の概要

(1) 歳入

(単位:千円、%)

区分 款	令和2年度 収入済額 (A)	令和3年度					増減額 (D)-(A)	前年度 対比 (D)/(A)
		予算現額 (B)	調定額 (C)	収入済額 (D)	執行率 (D)/(B)	構成比		
1 分担金及び 負担金	46,620	55,440	55,440	55,440	100.0	78.5	8,820	118.9
2 財産収入	0	14	0	0	1.5	0.0	0	—
3 繰越金	3,946	6,045	6,046	6,046	100.0	8.6	2,100	153.2
4 諸収入	7,530	2,701	9,120	9,120	337.7	12.9	1,590	121.1
借入金	47,310	0	0	0	0.0	—	△ 47,310	皆減
合計	105,405	64,200	70,605	70,605	110.0	100	△ 34,800	67.0

歳入決算額は、予算現額64,200千円に対し、収入済額70,605千円であり、予算現額に対する収入済額の執行率は、110.0%(前年度99.7%)となっている。

収入済額を前年度と比較すると34,800千円(33.0%)の減額となり、構成比は、分担金及び負担金78.5%、諸収入12.9%、繰越金8.6%の順となっている。

市町別負担金調書

(単位:人、千円)

	磐田市	掛川市	袋井市	御前崎市	菊川市	森町	合計	備考
人数	28	12	7	1	4	1	53	平成27年度返還 免除決定者 3人 平成28年度返還 免除決定者 3人 平成29年度返還 免除決定者47人
金額	29,160	12,358	7,802	720	4,320	1,080	55,440	平成27年度返還 免除分 3,240千円 平成28年度返還 免除分 3,240千円 平成26年度返還 免除分48,960千円

(2) 歳出

(単位:千円、%)

区分 款	令和2年度 支出済額 (A)	令和3年度					増減額 (C)-(A)	前年度 対比 (C)/(A)	
		予算現額 (B)	支出済額 (C)	翌年度 繰越額 (D)	不用額 (E)	執行率 (C)/(B)			構成比
1 教育費	99,360	64,200	63,547	0	653	99.0	100	△ 35,813	64.0
合計	99,360	64,200	63,547	0	653	99.0	100	△ 35,813	64.0

歳出決算額は、予算現額64,200千円に対し、支出済額63,547千円、不用額653千円で、予算現額に対する支出済額の執行率は、99.0%(前年度92.1%)となっている。

支出済額を前年度と比較すると35,813千円(36.0%)の減少となった。

8 実質収支に関する調書

令和3年度決算においては、歳入総額70,605千円、歳出総額63,547千円、歳入歳出差引額7,058千円が実質収支額となっている。

9 財産に関する調書

(1) 債 権

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中増減額		決算年度 末現在額	備 考
		貸付	清算		
奨学金貸付金	328,380	52,200	64,560	316,020	

(2) 基 金

(単位:千円)

区 分	前年度末現在額	決算年度中増減額	決算年度末現在額
奨学基金	21,553	11,347	32,900

10 基金運用状況調書

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中増減額		決算年度 末現在額	備 考
		受入	払出		
奨学基金	21,553	11,347	0	32,901	基金償還金 11,347 新規積立額 0 利子積立額 0 基金取崩額 0

第3 まとめ

中東遠看護専門学校組合は、中東遠地域における看護師の養成を目的として、看護師の資格取得に必要な知識及び技術を習得するため、平成5年4月に東海アクシス看護専門学校を開校した。

本年度の卒業生は58人(前年度54人)で、卒業生全員が看護師国家試験に合格し、7年連続合格率100%を達成した。

また、進路状況は、管内5病院に49人(84.5%)が就職している。

本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、老朽化した空調整備や情報科学室の机・椅子を更新し、分散勤務や分散学習に適した環境整備を行っている。

教員確保については、管内5病院との連携を図りながら、構成6市町の広報紙に募集記事掲載を依頼するなどの努力の結果、計画人数に達する教員を確保し、一方、学生募集については、管内の17高等学校等への訪問や進路ガイダンスに参加、学校のホームページを更新し、スマートフォン対応サイトを活用した情報発信を行い、優秀な人材確保に努めている。

近年の医療現場では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、医療提供体制のひっ迫が懸念され、看護師が必要とされ、看護の資質及び技術力の一層の向上が求められている。

このような情勢に対応できるよう、将来構想に基づき、地域医療の貴重な担い手を育成するために、時代に即した医療機器や学習環境を整備し、患者やその家族に向き合い、寄り添うことができる看護師の育成に努められたい。